

第70回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会

7月28・29日、全国高等学校家庭クラブ研究発表大会が山形テルサで行われ、全国各地から多くの家庭クラブ員が来県しました。

家庭クラブとは、家庭科を学ぶ生徒が行うクラブ活動です。本校からは、家庭クラブ生徒会長と校内役員の計6名が参加しました。

山形県内の家庭クラブ員に課せられた任務は、県外から来県した高校生や先生方を「もてなす」こと。本校は体験ブースの担当となり、折り紙で「サクランボ」の折り方を来県者にレクチャーしました。研究大会の発表の合間に、多くの方々に立ち寄ってもらいました。

「帰ったら保育園ボランティアで折って見せよう！」などと喜ぶ声が聞かれ、さすが家庭クラブ員！いろいろなところから発想のタネをみつけているのだな、と感心しました。

本校家庭クラブ員にとっても、喜んでもらえるおもてなしができ、さらにコミュニケーション力も高まる体験となりました。



一枚の折り紙で、2個つながった「サクランボ」を作ります。

